

衆議院議員 社会民主党

辻元清美 国政NEWS

つじとも通信 VOL.18
2010.6.10

連立政権の成果と社民党の役割
みなさん、こんにちは。
辻元清美です。

五月三〇日、社民党は連立政権を離脱し、私は国土交通副大臣を辞任しました。本当に辛い選択でした。

私は、職を辞すべきかどうか最後まで悩みました。総選挙では、社民党・民主党・国民新党が力を合わせて、国民の暮らしをよくしていくと訴えました。そして国土交通副大臣として、交通基本法の制定、ダムに頼らない治水やバリアフリーの充実、地球温暖化

問題や観光立国などにとりくみました。

「住まいの権利」は、私が一番やりたかったことのひとつ。私は今も昔も賃貸住宅に住んでいます。一生涯賃貸住宅で快適に暮らせる政策作りも推進中でした。とくに独居高齢者や子育てカッパルなどが安価に入れる住宅を社会のセーフティネットとして整備することは急務。国交省と厚労省が一緒にプロジェクトを立ち上げ、事務局には元「年越し派遣村」村長の湯浅誠さんが、副主査には私

が就任しました。ここでも「現場から政府の政策作り」に直接参加の実現でした。

また関西三空港問題や関西の観光、御堂筋の自転車ロード実現などの取り組みも行い、「国交省が変われば日本が変わる」を合い言葉に前原大臣や国交省の事務方のみんなと力を合わせ、必死で仕事をしてきました。取り組んできた仕事を全うできないことは無念で、涙が出てきました。

鳩山政権では、国を訴えた争議で、国側の歩み寄りによる和解も進みました。

B型肝炎和解、水俣病和解、シベリア抑留者問題。とくに「戦後最大の労働問題」といわれたJR不採用問題では担当副大臣として力を注ぎました。二三年間こじれた問題だけに荷が重かったのですが、財務省とバチバチやりあい、政府内調整や関係者とのギリギリ交渉



2010年5月10日、内閣府の障がい者制度改革推進会議にて。

連絡先・編集：

辻元清美とともに！市民ネットワーク

高槻事務所 ● 〒569-0805 大阪府高槻市
上田辺町6-20 寺本レジデンス2F
TEL072-685-0631 FAX072-686-2396

国会事務所 ● 〒100-8982 東京都千代田区
永田町2-1-2 衆議院第二議員会館305
TEL03-3508-7055 FAX03-3508-3855

URL ● <http://www.kiyomi.gr.jp/>

E-mail ● info@kiyomi.gr.jp

政権にいた責任をかみしめつつ、次のステージへ。

社会新報
Social Democratic Party

号外 発行所：社会民主党全国連合機関誌宣伝局 週刊(水曜日発行)

〒100-8982 東京都千代田区永田町1-8-1 電話 代表03(3580)1171 振替00140-1-3203

●定価180円●1カ月700円●送料160円

本誌の記事・写真などの無断転載・複写を禁じます。



で和解へ向かいました。人づてに、当時首相だった中曾根さんが「政権交代の成果」とおっしゃったとか。社民党だけでは解決できなかった課題が前進したのは、三年前から力を合わせた政権交代を果たして生まれた連立政権だからこそ。

前政権の後始末にも走り回りました。ダム問題や作りすぎた空港問題。JAL再建問題もそうです。これは「山一証券の破綻以上」といわれ、鳩山政権発足直後の最大課題でした。

私は事務局長として連日官邸やメガバンクの幹部などと折衝を繰り返ししました。JALの飛行機が世界中で飛ばなくなり、関連企業が倒産し、失業者が大量に出る——そんなシナリオを食い止める闘いなんだと、各方面を調整しました。

自分の一言が株価を左右しますから、メディアとの距離も慎重になりました。法的整理を発表する一月の「Xデー」間近では、世界中の出先機関や窓口対応をコントロールするため、海外出張も含めたすべての予定をキャンセル。細かく指示を出し続け、なんとか無事に切り抜けたときはホッとしました。

また憲法を変えようという動きが内外にありました。社民党が政権内にいたからこそ一つも前に進めませんでした。

だからこそ、悩んだのです。政権離脱をして小さな野党になって、辺野古案を止められるのだろうか。選挙協力中止となれば自民党の復権に手を貸すのではないだろうか。政治は時々「善意で舗装された地獄への道」になる

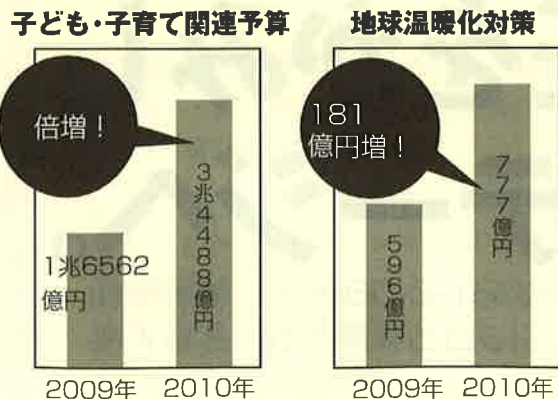
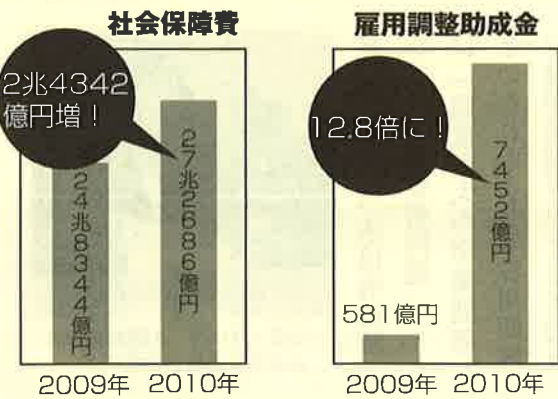
ことがあるが、そうならないだろうか。

「グアム」と私に答えた鳩山前総理
私は庶民代表として、何

度も鳩山前総理に「直言」してきました。国民生活の苦しさ、年間千件もの米軍事故・事件に苦しむ沖縄の人たちの怒りをお伝えするの、私の役割と思っていたからです。鳩山さんが普天間問題で揺れたときも、「自民政権でも一〇年以上もめている辺野古案は最も実現が難しい案。固執すれば日米関係も不安定になり、政権そのものが危うくなりま

す」と直接何度も訴えました。アメリカとも直接、水面下の交渉をしました。普天間問題のキーマンである、さるアメリカ側の高官と極秘で会って激論

● 予算で見る政権交代後の主な変化



をかわしました。そのとき私が、毎年沖縄で千件以上も発生する在日米軍による事件・事故の数を一覧にした資料を見せたところ驚いて「このデータをください」と言いました。私は、こんなこともご存知なくて、新基地を作れと迫っているのかと愕然としました。「社民党の協力がないと参議院では法案が一本も通らないぞ」と各方面から関係僚に働きかけ、昨年末は移設問題の決着は先送りになりました。これで年を越し、

一月の名護市長選の勝利につなげたのです。

しかし四月にまた辺野古案が再浮上。私は本会議場で鳩山さんに強く迫りました。「辺野古にお決めになつたら、総理自身が政権から放り出されますよ」。このとき鳩山さんは、ハッと顔色を変えました。そして、本当はどこへ移したいのですか? と問うと、「グアム」とお答えになりました。小沢一郎前民主党幹事長にも「幹事長のご意見は?」と聞きました。すると「海

多所彩々辻元清美の活動報告<抜粋>

2月

- 1日 JAL新社長面会。
- 2日 国土交通省(以下“国交省”)女性職員研修講話。成長戦略会議。
- 3日 官邸の温暖化に関する検討委員会。フィリピン労働雇用長官表敬。キューバ大使表敬。
- 4日 英国大使面会。国交省政策会議。
- 5日 私鉄バス專業組合研修会講演。
- 7~8日 北海道道東視察。
- 9日 トヨタ社長面会。
- 10日 内航大型船舶送海運組合要請。
- 12日 地球温暖化対策検討PT。
- 13日 社民党大阪府連合定期大会。
- 14日 関西大学市民公開講座講演(高槻市)。
- 15日 国交省近畿地方整備局・国道事務所等視察。京阪電鉄社長表敬。
- 16日 JAL関係懇談。根室市議会・商工会・漁業組合要請。観光連携コンソーシアム。交通基本法検討委員会。
- 17日 アフリカ外交団観光部会メンバー表敬。政府広報誌「Cablネット」取材。町田市長選挙応援。
- 18日 岡山県知事要請。
- 19日 日本自動車販売協会連合総会懇親会。
- 23日 地球温暖化対策副大臣検討プロジェクトチーム(以下“PT”)。
- 24日 衆議院(以下「衆」)国土交通委員会。訪日観光コピー打合せ。
- 25日 (衆)予算委員会第8分科会。
- 26日 モンゴル観光局長表敬。
- 27日 郵便局長会総会(茨木市)。
- 28日 若松コミュニティ祭(高槻市)。

3月

- 1日 訪日観光キャッチコピー打合せ。交通基本法検討委員会。
- 2日 国交省政策会議。国土交通委員会。
- 3日 (参)予算委員会。政務三役会議。観光立国推進本部・休暇分散化ワーキングチーム(以下WT)。
- 5日 交運労協政策議員懇談会。朝日新聞出版取材「JAL」。
- 8日 日比谷線脱線衝突事故慰霊式。
- 9日 地球温暖化対策副大臣PT。
- 10日 全自交高槻支部役員表敬。政務三役会議。(衆)内閣委員会。
- 12日 鳩山総理とナポリターノ米国土安全保障長官懇談出席。
- 13日 航空安保に関するアジア太平洋地域大臣会合。千里友の会(高槻市)。
- 14日 関西移動ネットワーク講演(高槻市)。大阪府医師会会長当選祝賀会(大阪市)。
- 15日 国交省政策コアメンバー会議。
- 16日 (参)国土交通委員会。(参)外交防衛委員会。(参)農林水産委員会。
- 18日 日・EU間のEPA/FTA副大臣級会議。朝日新聞取材。嘉田由紀子滋賀県知事面談<写真3>。
- 19日 平成22年度国交省各局当初予算説明会。
- 20日 第2京阪道路開通式。郵便局長会近畿総会。郵便局長会婦人会(大阪)。
- 21日 海上保安大学校卒業式(呉市)。
- 24日 さくら祭中央大会。
- 25日 (衆)消費者特別委員会。田英夫さんを偲ぶ会。
- 26日 公益事業学会60周年記念講演会。
- 27日 国政報告会「永田町航海記」(島本町・高槻市)。

- 28日 古曽部防災公園完工式典。三島江視察(高槻市)。
- 30日 観光連携コンソーシアム。
- 31日 外務・経産・国交合同政策会議。交通基本法中間報告省内打合せ。

4月

- 1日 国交省新規職員入省式。アサザ基金要請。休暇分散化WT。
- 3日 立正佼成会豊中教会50周年記念式典(豊中市)。撰津峡さくら祭。
- 6日 観光立国ナビゲーター「嵐」表敬。
- 7日 長崎県知事要請。
- 9日 大阪駅北ヤード着工披露パーティー(大阪市)。
- 10日 介護保険を持続発展させる1000万人の輪・大阪集会。
- 12日 各労働組合表敬訪問。(大阪)
- 13日 (参)経済産業委員会。
- 14日 関西経済同友会会長面会。
- 15日 地球温暖化対策副大臣WT。
- 17日 社民党富山県連合講演(富山市)。
- 19日 マレーシア首相歓迎晩餐会。
- 22日 北海道新聞取材「JR不採用問題」。24日 関西大学開校記念式典。全中運近畿協議会研修会講演。関西物流研究会講演。(高槻市)
- 26日 16都道府県知事要請<写真2>。
- 29日 こいのぼりフェスタ(高槻市)。

5月

- 1日 連合大阪メーデー。第81回中之島メーデー(大阪市)。
- 3日 ビースウォーク。憲法キャラバン。島本ライオンズ表彰式(大阪)。
- 5日 街頭演説：社民党比例区予定候補者・保坂展人氏、東京選挙区予定候補者・森原秀樹氏と(東京)。
- 9日 御堂筋オープンフェスタ2010開会セレモニー。
- 10日 平成22年度勳章伝達式。障がい者制度改革推進会議。
- 11日 セーフティ・ネットワーク実現チーム会合。
- 13日 地域主権戦略会議。
- 14日 平成22年度褒章伝達式。四日市港管理組合面会。(衆)環境委員会。若波新書出版記念シンポジウム「世代間連帯」<写真1>。
- 16日 熊本水防演習。荒瀬ダム他視察(熊本県)。
- 17日 全国港湾空港事務所長会議訓辞。観光立国推進本部・外客誘致WT。
- 19日 公営住宅協要請。国政報告会「永田町航海記」(東京)。
- 20日 特定船舶法成立各党挨拶廻り。観光連携コンソーシアム。
- 21日 ベトナム交通運輸副大臣MOU署名式。物学研究会講演。
- 22日 社民党比例区予定候補者・吉田ただとも氏総決起集会(佐賀市)。全労済主催シンポジウム(福岡市)。
- 23日 社民党新潟選挙区予定候補者・近藤正道氏選挙応援(新潟市・長岡市)。
- 24日 高槻特定郵便局局長表敬。連合11年度重点政策要請。日立製作所社長面会。JR東副社長面会。出先機関改革公開討議。保坂展人氏激励パーティー。
- 25~29日 国際交通フォーラム大臣会合(TIF2010)・専門家セッションなど(英・独・仏)<写真4>。
- 30日 社民党全国幹事長会議。
- 31日 政務三役会議・辞表提出。国交省職員へ挨拶。退庁行事。



を埋め立てたらだめだ」。民主党の国会議員の大半も辺野古案に反対で、一八一名の反対署名が官邸に届けられました。

五月末、私はドイツで開かれた国際交通フォーラム

大臣会合に、前原大臣の代理で出席しました。私は国際電話で官邸などに働きかけ、最後の最後まで、他の道はないのかと水面下の調整を続けました。

しかし鳩山さんは突き進

み、残念なことに私が懸念した通りの結果に。「国民が聞く耳をもたなくなつた」とおっしゃいましたが、国民の声を聞く耳をもてなくなつてしまつたのは鳩山さんの方でした。

私の責任、そして明日へ

私自身、政権の内側にいながら辺野古移設の愚かな案を止めることができなかった責任を痛感しています。沖繩の皆さんに申し訳ないです。期待し、応援いただいたすべての皆さんに對して、この責任をかみしめつつ、私は次のステージに向かいたい。

政治の課題は山積み、そして政権交代は過渡期であ

り、政治は流動化します。いよいよ菅直人さんが、総理大臣に就任します。市民運動出身者初の総理が生まれることを本当に嬉しく思います。最も親しい国会議員の一人でした。今後いろいろな方々と協力できることは協力し、提案もし、一線を画すことは一線を画し、国民生活が少しでもよくなるようがんばります。

辻元清美

追悼・井上ひさしさん 辻元清美

作家の井上ひさしさんがお亡くなりになりました。なぜいま、と悔しくてならない。

井上さんとの出会いは20数年前。さる集会で一緒した後、JR御茶ノ水駅でバッタリお会いした。ピースボートの活動をご存知で、「大変でしょう」とオレンジカードを1万円分、その場でプレゼントしてくださった。



そこからおつきあいが始まり、選挙のたびに推薦人になっていただいた。「政治家は応援しないんだよ」と言いながら、独特の丸っこい文字で推薦文をくださるので、恐縮しながらもその「字」に会うの

を楽しみにしていた。

辞職中も変わらぬ応援をしてくださり、2004年の参議院選挙では、私の立候補に反対が多い中「頑張ってください」と励ましてくださった。当時は小泉政権、「憲法が心配です」と自ら応援に来てくださった。大阪の強い日差しの中、「生まれて初めて選挙の応援演説をします」と千里中央でビールケースに立って話してくださいました。個人的に相談に乗っていただくことも多々あった。

平和や食、環境問題など多くの分野でも世の中を力強く牽引された。自分をとりまく価値観が180度変わった強烈な敗戦体験からか、時代の空気に鋭敏な感性をもっていた。井上さんの言葉には弱きもの、小さきものへの愛があふれていた。もうあの「字」に会えないことは胸が痛むが、井上さんの数々の言葉は私の中に刻み込まれている。「今度のお芝居こそ行きます」と約束していたのに、果たせなかった。だからもう一つの、井上さんとの一番大事な約束——憲法9条は守り抜きます。だから少し、筆をおろしてお休みください。井上さん。

きよみインフォメーション

辻元清美の国政報告会「永田町航海記スペシャル」

「動かそう、いっしょに。」

日時●6月13日(日) 13:30~15:30

ところ●高槻現代劇場新館3Fレセプションルーム

ゲスト●

保坂のぶとさん

前衆議院議員・ジャーナリスト

大川あきこさん

社民党大阪府連生活再建委員長

石坂啓さん

漫画家



入場無料、筆記通訳あり

保育あり(年齢制限なし/要予約)

※ご予約ください

(tel: 072-686-2395 fax: 072-686-2396)

辻元とタッグを組んで活躍していた保坂のぶとさんは、税金のムダ遣いに鋭く切り込み「国会の質問王」と呼ばれていました。辻元と保坂さんの共通の友人でもある漫画家の石坂啓さんを交えてクロストーク。また大阪からは客室乗務員から司法書士へ転身、「9条を子どもたちの世代にバトンタッチ」したいと語る大川あきこさんが参加。女性3人のトークも楽しみです。

※なお当日参加いただける方はこの通信の封筒をご持参ください。

カンパのお願い

果敢にたたかい続ける
辻元清美をご支援ください。

またイチからスタート。政局は流動化し、同日選挙の可能性も出てきました。毎回のお願いで誠に恐縮ですが、カンパにぜひともご協力をお願いします。

つじともネット会員募集

会報「つじとも通信」を年2~3回お届けするほか、国政報告会「永田町航海記」などのご案内を差し上げます。

サポート会員：年 12,000円

※毎月1,000円の郵便貯金自動引き落としもご利用いただけます。

一般会員：年 3000円 学生会員：年 1,000円

個人特別賛助会員：年50,000円/一口

(寄付金扱い・上限30口迄)

郵便振替 00960-3-150256

加入者名 辻元清美とともに！市民ネットワーク

※なお、政治資金規制法により、「つじともネット」への寄付金は日本国籍の個人に限られています。団体・法人からの会費・寄付金のお申込はできません。